STROKE LAB / Rehabilitation Assessment

FSS｜疲労評価シート

Fatigue Severity Scale / 9項目・7段階

氏名・ID：_____ 評価日：_____年____月____日

記録者：_____ 回答方法：本人記入・聞き取り（本人回答）

過去1週間の状態について、各行の数字を1つ◯で囲んでください。

1＝全くそう思わない　　7＝強くそう思う

2〜6は、その間の程度を表します。9項目すべてに回答してください。

項目（日本語参考訳）		回答：各項目1〜7点						
1	疲れていると、やる気が低下する。	1	2	3	4	5	6	7
2	運動すると疲労が生じる。	1	2	3	4	5	6	7
3	疲れやすい。	1	2	3	4	5	6	7
4	疲労が身体の働きを妨げている。	1	2	3	4	5	6	7
5	疲労のために、たびたび困ることがある。	1	2	3	4	5	6	7
6	疲労のために、身体活動を続けられない。	1	2	3	4	5	6	7
7	疲労が、役割や責任を果たすことを妨げている。	1	2	3	4	5	6	7
8	疲労は、最も支障の大きい3つの症状の一つである。	1	2	3	4	5	6	7
9	疲労が、仕事・家庭生活・社会生活を妨げている。	1	2	3	4	5	6	7

合計：_____ / 63点　　平均：_____ / 7点

9項目の合計（9〜63点）　／　平均＝合計÷9（1〜7点）

採点・解釈

高得点ほど疲労の影響が大きい。平均4点以上（合計36点以上）は追加評価の目安。

この得点だけでPSFを診断しない。未回答があれば補完せず、総合点は算出保留とする。

前回：____月____日　平均____点 → 今回____点　差（今回−前回）：____点

生活への影響・睡眠・疼痛・気分・活動量・介入内容など：

本用紙の設問は原版に基づく参考訳で、妥当性検証済み日本語版ではありません。

原著：Krupp LB, et al. Arch Neurol. 1989;46:1121-1123. doi:10.1001/archneur.1989.00520460115022

原版確認：Mercy「Fatigue Severity Scale (FSS)」／作成：STROKE LAB形式・2026.10